

題材配列表

小学校「図画工作」と中学校「美術」の連携を図りました。

楽しかった図画工作を振り返り、自信をもって中学校の造形活動へと意欲的に取り組んでいける工夫です。



▲美術 1 p.2~4 「図画工作から美術へ」

▲新学習指導要領の「小・中の連携」に対応しています。

美術 1

資料 (鑑賞)	資料 (鑑賞)	絵	絵
図画工作から美術へ	表現の始まり 見ること発見	心ひかれる風景 私のお気に入りの場所 そして時間	広がる形や色から 技法の発見から表現へ
p.2~4	p.5~7	p.8~11	p.12~13

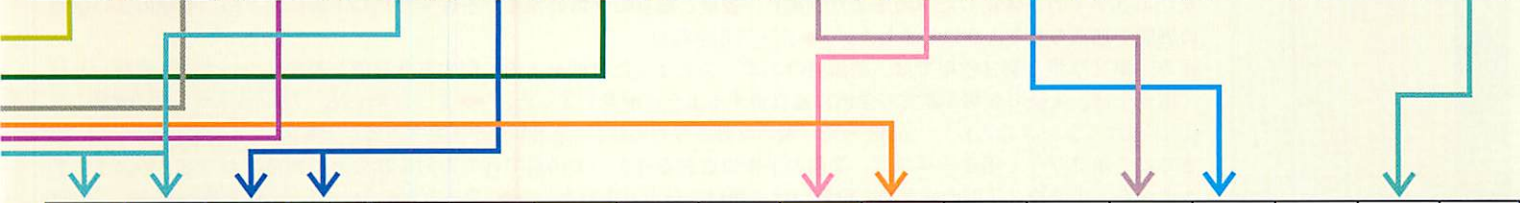
美術 2・3

資料 (鑑賞)	資料 (鑑賞)	絵	絵	絵	絵	絵	絵 デザイン・ 工芸	絵	絵	彫刻	彫刻	デザイン	デザイン	デザイン
教科書美術館へようこそ 美術作品を鑑賞しよう	美術のちから 心豊かに、生きる喜び	風景が語るもの 道に思いを込めて	奥行き表現 遠近法の仕組み	自分探しの旅 自分と出会う	描かれた人が語るもの 人物画からの発見	驚きの世界へ 形や色のトリック	伝統の美に学ぶ 日本の美術、日本の造形	伝統と改革・日本画 根ざした絵画 日本の風土に	モノトーンのおもしろさ 水墨画の世界	空間を感じて 手や人物の形から抽象彫刻へ	人の形に込めたもの 人体の造形	デザインする心 イラストレーションを楽しむ	デザイン行動 問題を解決するデザイン	学校紹介プロジェクト 社会に向けて 伝えるデザイン
p.3~7	p.8~9	p.10~13	p.14~15	p.16~19	p.20~23	p.24~27	p.28~31	p.32~33	p.34~35	p.36~39	p.40~41	p.42~43	p.44~45	p.46~49

※題材名の色分けは□は絵・彫刻の分野、■はデザイン・工芸の分野を示しています。

「分野・領域」ごとに、ねらいや育てたい力などを考慮して系統的にバランスよく配列するとともに、表現と鑑賞のページを相互に関連させることによって学習の深まりと広がりが期待できます。

絵	絵・彫刻	彫刻	デザイン	工芸	デザイン	絵	絵／デザイン・工芸	絵／デザイン・工芸	デザイン	資料(鑑賞)	資料	資料	資料(鑑賞)
写し取る形 版表現の楽しさ	動きを見つめて ポーズ、姿勢、そして動作	彫刻動物園 生き生きとした立体に表す	生活を豊かに 形や色、文字のデザインを工夫して	お気に入りの囲まれて 木や土の工芸	変化させる絵 動きや光を使って	主役を探そう 2枚の絵を見比べよう	美しさの交流 自分の見方を大切に	隣の国々アジア 見る、知る、交流する	私の歩み 作品集をデザインする	のぞいてみよう、美術館	Let's try!	道具箱	色彩ホームページ
p.14・15	p.16・17	p.18~21	p.22~25	p.26~29	p.30・31	p.32・33	p.34~37	p.38・39	p.40・41	p.42・43	p.44・45	p.46・47	p.48・49



デザイン	デザイン	工芸	工芸	絵・彫刻	絵	デザイン・工芸	絵	彫刻	デザイン	絵	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	
時代を見つめる 今を映すデザイン	デザインの広がり 未来をつくるデザイン	つくる・使う・楽しむ 素材を生かす工芸	人がつくる、技を極める 伝統を今に生かす工芸の美しさ	平和、命、つながり 美術を通して私たちが学ぶもの	物語を描く 絵巻物の世界	江戸のデザインセンス 琳派の造形	光がつくり出す色彩をつかまえて 印象派の絵画	願いや祈りの形 仏像の美	風土を生かして 建築の新たな志向	抽象から空間の表現へ 形と色だけの世界から空間へ	ルネサンスの美術 人間再発見と科学の時代	ジャポニスム 西洋の美意識に影響を与えた日本	美術を身近なものに ポップアートとその後の現代美術	生きることと美術 私たちにとって美術とは	美術の流れ	色彩ホームページ	暮らしや生活の中の美術
p.50・51	p.52・53	p.54~57	p.58~61	p.62~64	p.65~67	p.68・69	p.70・71	p.72・73	p.74・75	p.76・77	p.78・79	p.80・81	p.82・83	p.84・85	p.86~88	p.89~91	p.92・93